

2016年12月期 第2四半期 決算説明会

片倉工業株式会社

(コード: 3001 東証第1部)

2016年8月22日

目次



ページ	項目
4	1. 2016年12月期 第2四半期 決算概要
5	連結損益計算書
6	連結損益計算書 セグメント別売上高実績
7	連結損益計算書 セグメント別営業利益実績
8	連結貸借対照表
9	連結キャッシュフロー計算書
10	2. 2016年12月期 通期業績予想
11	連結損益計算書 通期予想
12	連結損益計算書 セグメント別売上高予想
13	連結損益計算書 セグメント別営業利益予想
14	設備投資額・減価償却費・研究開発費予想

ページ	項目
15	3. 中期経営計画「カタクラ2016」進捗状況
16	「カタクラ2016」について
17	数値計画
18	セグメント別進捗 不動産事業
23	セグメント別進捗 機械関連事業
24	新規事業の創出
26	セグメント別進捗 医薬品事業
28	セグメント別進捗 繊維事業
29	設備投資額・減価償却費・研究開発費
30	4. 株主還元について
31	株主還元
32	《参考資料①》 多角化の起源
33	《参考資料②》 カタクラグループの事業構成
34	《参考資料③》 中計期間中の取り組み

1. 2016年12月期 第2四半期 決算概要

連結損益計算書

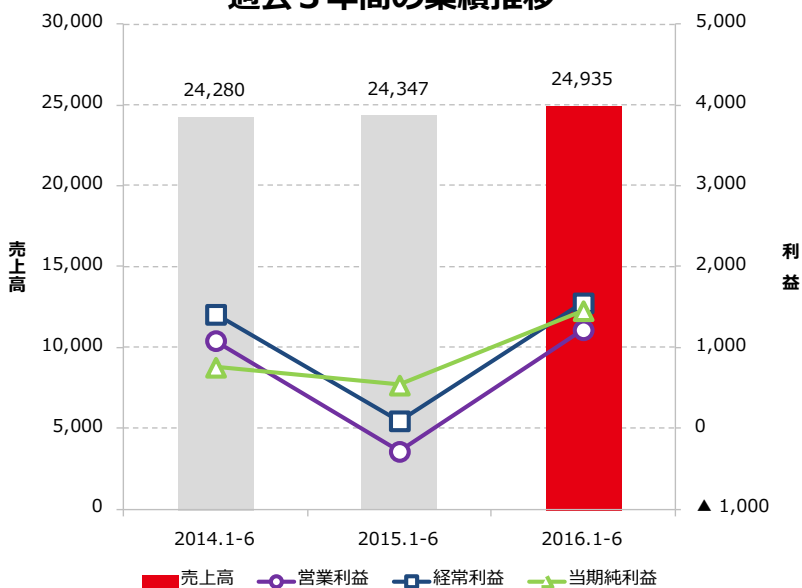


機械関連で減収も、新S Cの寄与や医薬品の改善もあり増収増益。予想比減収も、コスト減等により増益

(金額単位：百万円)

	2016.1-6実績		2015.1-6実績		前年増減	2016.1-6予想		予想との差異
	A	売上比	B	売上比	A-B	C	売上比	A-C
売上高	24,935	100.0%	24,347	100.0%	588	25,400	100.0%	▲ 465
営業利益	1,221	4.9%	▲ 282	▲ 1.2%	1,503	1,000	3.9%	221
経常利益	1,553	6.2%	96	0.4%	1,457	1,300	5.1%	253
当期純利益	1,457	5.8%	537	2.2%	920	1,300	5.1%	157

過去3年間の業績推移



【売上高】

- ・機械関連 ▲ 9 億円
- ・不動産 + 11 億円
- ・医薬品 + 5 億円

【営業利益】

- ・不動産 + 9 億円
- ・医薬品 + 5 億円

【当期純利益】

- ・固定資産処分損の減も税金費用の増加

【売上高】

- ・医薬品 ▲ 3 億円

【営業利益】

- ・医薬品 ▲ 2 億円
- ・不動産 + 2 億円
- ・機械関連 + 1 億円

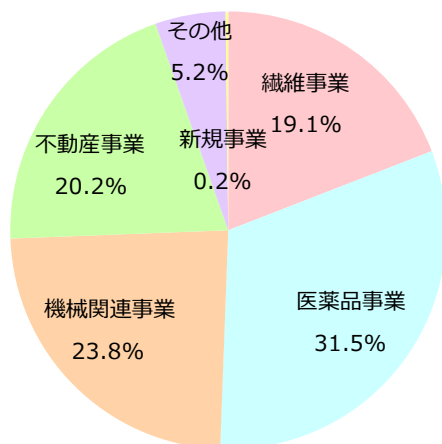
連結損益計算書 | セグメント別売上高実績



(金額単位：百万円)

	2016.1-6実績		2015.1-6実績		前年増減	2016.1-6予想		予想との差異
	A	構成比	B	構成比	A-B	C	構成比	A-C
売上高	24,935	100.0%	24,347	100.0%	588	25,400	100.0%	▲ 465
繊維事業	4,738	19.1%	4,957	20.4%	▲ 219	4,800	18.9%	▲ 62
医薬品事業	7,858	31.5%	7,352	30.2%	506	8,200	32.3%	▲ 342
機械関連事業	5,945	23.8%	6,852	28.1%	▲ 907	5,900	23.2%	45
不動産事業	5,037	20.2%	3,971	16.3%	1,066	5,100	20.1%	▲ 63
その他	1,302	5.2%	1,197	4.9%	105	1,330	5.2%	▲ 28
新規事業	54	0.2%	16	0.1%	38	70	0.3%	▲ 16

セグメント別売上高構成比



【医薬品】

- ・前期発売の経口糖尿病用剤「メトホルミン塩酸塩錠」(6月)の寄与及び承継した「シベノール」による増

【機械関連】

- ・前期に大容量送水ポンプ車の受注の反動

【不動産】

- ・前期開業のコクーン2(4月)、コクーン3(7月)の寄与
- ・前期賃貸開始の松本開発(11月)の寄与

【医薬品】

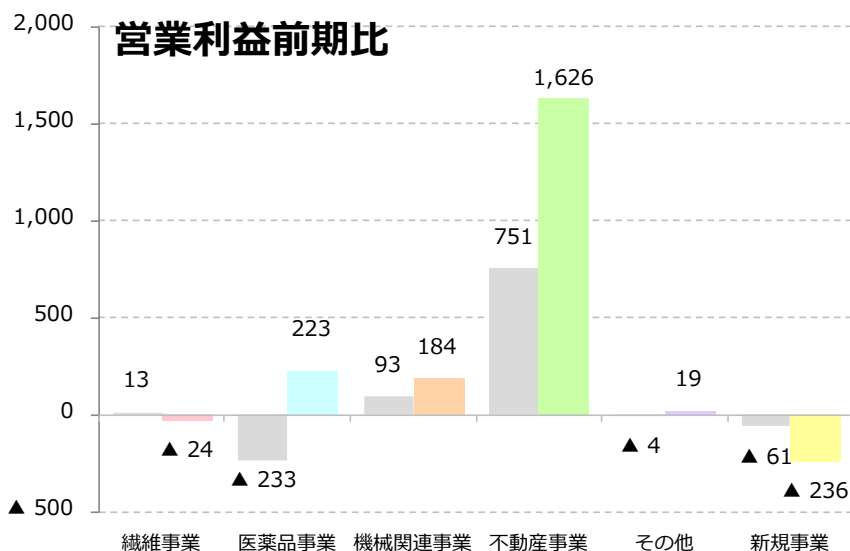
- ・販売先の購入計画が下期にずれ込んだため

連結損益計算書 | セグメント別営業利益実績



(金額単位：百万円)

	2016.1-6実績	2015.1-6実績	前年増減	2016.1-6予想	予想との差異
	A	B	A-B	C	A-C
営業利益	1,221	▲ 282	1,503	1,000	221
繊維事業	▲ 24	13	▲ 37	0	▲ 24
医薬品事業	223	▲ 233	456	400	▲ 177
機械関連事業	184	93	91	50	134
不動産事業	1,626	751	875	1,450	176
その他	19	▲ 4	23	0	19
新規事業	▲ 236	▲ 61	▲ 175	▲ 250	14
調整額	▲ 571	▲ 842	271	▲ 650	79



【医薬品】
・増収による増益

【機械関連】
・減収も、トラック部品のスポット受注が収益に貢献し増益

【不動産】
・増収に加え、前期は開業販促費があったため大きく増益

【調整額】
・前期は控除不能消費税の計上があったため増益

【医薬品】
・販売先の購入計画の下期へのずれ込みにより減益

【機械関連】
・若干の増収に加え、トラック部品のスポット受注が収益に貢献し増益

【不動産】
・若干の減収も、コスト削減により増益

連結貸借対照表



不動産開発に伴う借入金を順調に返済

(金額単位：百万円)

		2016.6	2015.12	前年増減
		A	B	A-B
流動資産		49,670	55,290	▲ 5,620
固定資産		89,472	95,646	▲ 6,174
	有形固定資産	52,459	53,401	▲ 942
	無形固定資産	1,563	848	715
	投資その他の資産	35,448	41,397	▲ 5,949
	投資有価証券	31,659	37,490	▲ 5,831
資産合計		139,143	150,936	▲ 11,793
負債合計		62,440	71,632	▲ 9,192
	借入金	19,293	23,345	▲ 4,052
	預り敷金保証金	9,825	9,833	▲ 8
	繰延税金負債	9,680	11,979	▲ 2,299
純資産合計		76,702	79,304	▲ 2,602
	その他有価証券評価差額金	14,287	17,508	▲ 3,221
負債・純資産合計		139,143	150,936	▲ 11,793

・不動産開発に伴う借入金の返済

・投資有価証券の一部売却に加え、時価評価差額

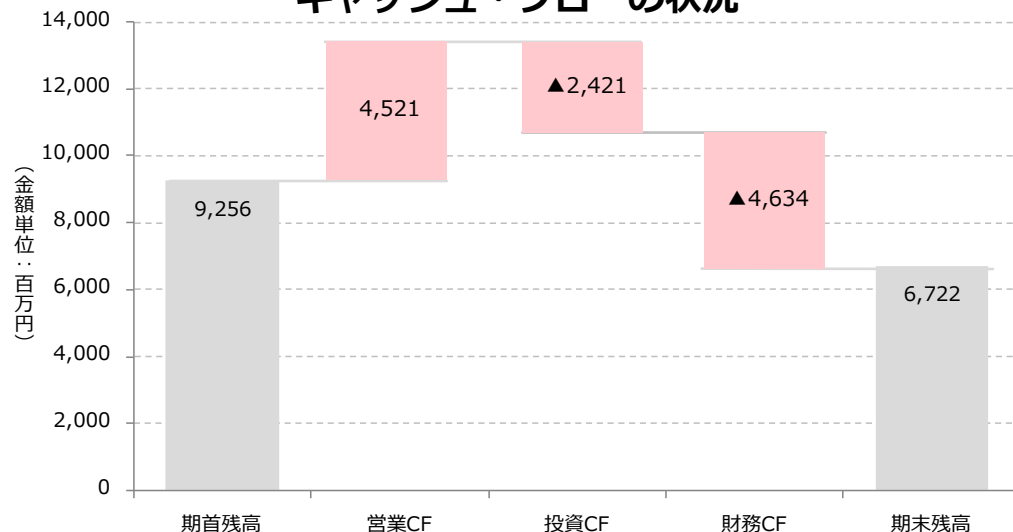
連結キャッシュフロー計算書



(金額単位：百万円)

	2015.1-6実績	2016.1-6実績
現金及び現金同等物の期首残高	5,758	9,256
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,646	4,521
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 1,805	▲ 2,421
財務活動によるキャッシュ・フロー	6,543	▲ 4,634
現金及び現金同等物の増減額	7,384	▲ 2,534
現金及び現金同等物の期末残高	13,143	6,722

キャッシュ・フローの状況



【営業CF】

・主に営業収益を確保できたことによる

【投資CF】

・有形固定資産の取得 ▲13億円
 ・定期預金の増加（資金減） ▲11億円
 ・無形固定資産の取得 ▲10億円
 ・投資有価証券売却による収入 +10億円

【財務CF】

・長期借入金の返済 ▲25億円
 ・短期借入金の返済 ▲15億円
 ・配当金の支払い ▲4億円

2. 2016年12月期 通期業績予想

連結損益計算書 | 通期予想

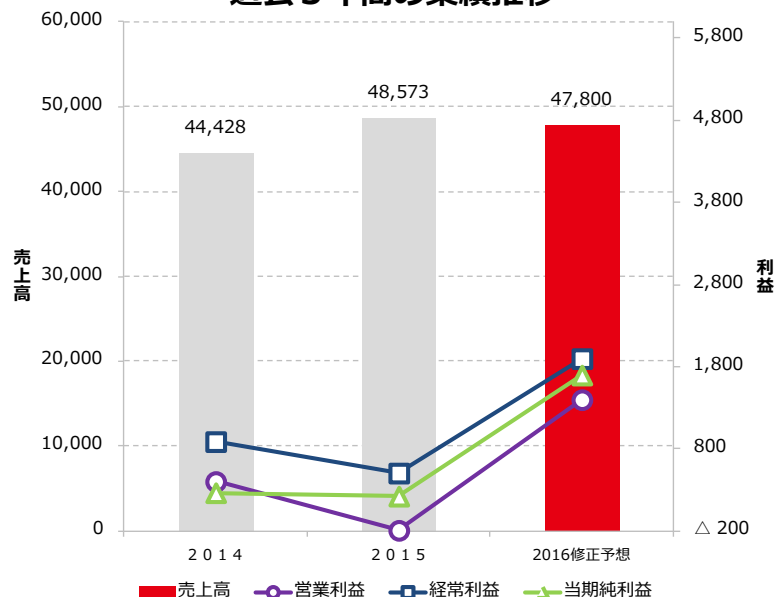


機械関連で減収も、利益段階は期初予想どおり。前年比機械関連で減収も、新S Cの寄与や医薬品の改善もあり減収増益

(金額単位：百万円)

	2016修正予想		2016期初予想	差異	2015実績	前年増減
	2016.1-6実績	A	B	A-B	C	A-C
売上高	24,935	47,800	49,000	▲ 1,200	48,573	▲ 773
営業利益	1,221	1,400	1,400	0	▲ 190	1,590
経常利益	1,553	1,900	1,900	0	507	1,393
当期純利益	1,457	1,700	1,700	0	226	1,474

過去3年間の業績推移



【売上高】

- ・ 医薬品 + 3 億円
- ・ 機械関連 ▲ 9 億円
- ・ 繊維 ▲ 3 億円

【営業利益】

- ・ 不動産 + 1 億円
- ・ 繊維 ▲ 1 億円

【売上高】

- ・ 不動産 + 1 2 億円
- ・ 医薬品 + 9 億円
- ・ 機械関連 ▲ 3 1 億円

【営業利益】

- ・ 不動産 + 8 億円
- ・ 医薬品 + 7 億円

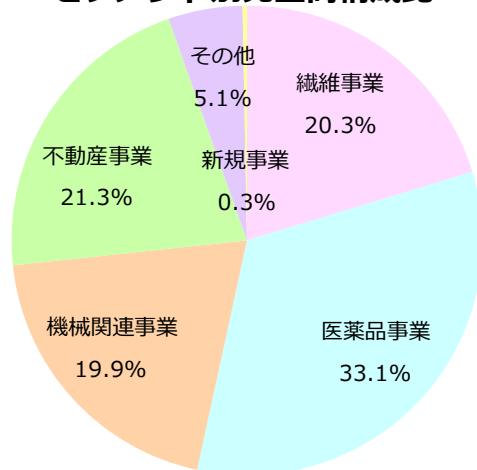
連結損益計算書 | セグメント別売上高予想



(金額単位：百万円)

	2016修正予想		2016期初予想	差異	2015実績	前年増減
	2016.1-6実績	A	B	A-B	C	A-C
売上高	24,935	47,800	49,000	▲ 1,200	48,573	▲ 773
繊維事業	4,738	9,700	10,000	▲ 300	9,652	48
医薬品事業	7,858	15,800	15,500	300	14,903	897
機械関連事業	5,945	9,500	10,400	▲ 900	12,607	▲ 3,107
不動産事業	5,037	10,200	10,300	▲ 100	8,982	1,218
その他	1,302	2,450	2,600	▲ 150	2,375	75
新規事業	54	150	200	▲ 50	52	98

セグメント別売上高構成比



【繊維】

- ・新規開拓の進捗遅れ

【医薬品】

- ・下期堅調に推移し増収見込み

【機械関連】

- ・消防自動車関連で受注減見込み

【医薬品】

- ・薬価改定による減収も、前期発売の経口糖尿病用剤「メトホルミン塩酸塩錠」(6月)の寄与及び承継した「シベノール」による増

【機械関連】

- ・前期に大容量送水ポンプ車の受注の反動

【不動産】

- ・前期開業のコクーン2(4月)、コクーン3(7月)の寄与
- ・前期賃貸開始の松本開発(11月)の寄与

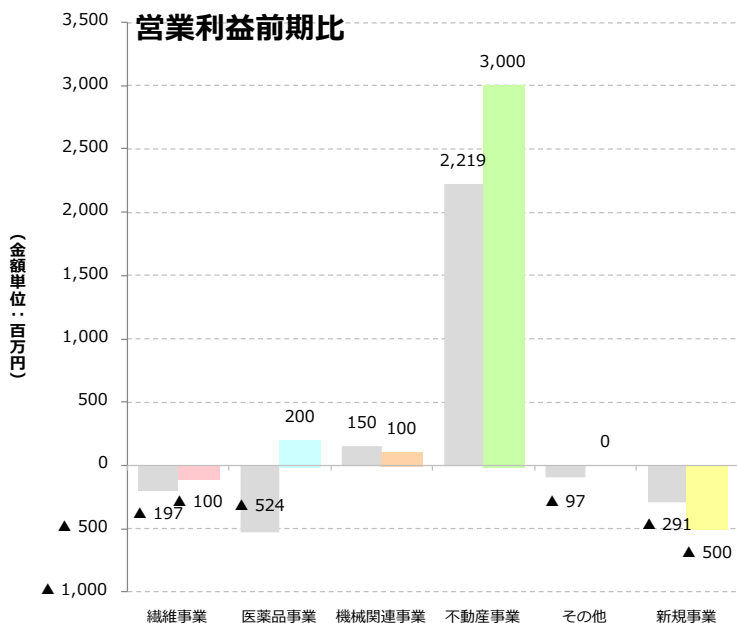
連結損益計算書 | セグメント別営業利益予想



(金額単位：百万円)

	2016修正予想		2016期初予想	差異	2015実績	前年増減
	2016.1-6実績	A	B	A-B	C	A-C
営業利益	1,221	1,400	1,400	0	▲ 190	1,590
繊維事業	▲ 24	▲ 100	0	▲ 100	▲ 197	97
医薬品事業	223	200	150	50	▲ 524	724
機械関連事業	184	100	100	0	150	▲ 50
不動産事業	1,626	3,000	2,900	100	2,219	781
その他	19	0	0	0	▲ 97	97
新規事業	▲ 236	▲ 500	▲ 450	▲ 50	▲ 291	▲ 209
調整額	▲ 571	▲ 1,300	▲ 1,300	0	▲ 1,450	150

営業利益前期比



【繊維】
・減収による減益

【機械関連】
・減収も、トラック部品のスポット受注が収益に貢献し期初予想どおり

【不動産】
・若干の減収も、コスト削減により増益

【医薬品】
・メトホルミン塩酸塩錠、シベノール売上増による増益

【機械関連】
・大幅減収も、利益率の改善により若干の減益に留まる

【不動産】
・増収に加え、前期は開業販促費があったため大きく増益

設備投資額・減価償却費・研究開発費予想



大型の社有地開発完了に伴い設備投資が減少

(金額単位：百万円)

	2016修正予想	2016期初予想	差異	2015実績	前年増減
	A	B	A-B	C	A-C
設備投資額	3,440	3,240	200	12,800	▲ 9,360
医薬品事業	1,600	600	1,000	950	650
不動産事業	1,090	1,810	▲ 720	10,660	▲ 9,570
その他のセグメント	750	830	▲ 80	1,190	▲ 440

【不動産】
・前年にコクーン2の大型設備投資あり

減価償却費	4,010	4,090	▲ 80	3,842	168
医薬品事業	1,400	1,400	0	1,458	▲ 58
不動産事業	2,080	2,130	▲ 50	1,884	196
その他のセグメント	530	560	▲ 30	500	30

【不動産】
・コクーン2の償却費が通年負担

研究開発費	2,780	2,790	▲ 10	3,138	▲ 358
医薬品事業	2,400	2,400	0	2,684	▲ 284
新規事業	60	80	▲ 20	196	▲ 136
その他のセグメント	320	310	10	258	62

【医薬品】
・適応拡大に伴う臨床試験費用等が減少

3. 中期経営計画「カタクラ2016」進捗状況

「カタクラ2016」について



ビジネスプロジェクト (2012→2016)

2013年3月竣工
東京スクエアガーデン



2013年9月発売
ピソノテープ(新薬)



2015年開業
さいたま新都心駅前社有地第二期開発



2017年秋開業予定
松本社有地開発



基本戦略

成長事業への転換

- 多様化する顧客ニーズに対応し、特定領域でのNo.1を目指す
- 既存事業のビジネスモデルを見直し、成長事業へシフトすることで、収益基盤を強化する
- 新興国市場の開拓を推進する

新規事業の創出

- 多角化した事業のシナジーを効かせ、新規事業を創出する
- 人々の潜在ニーズに応え、独創的な製品やサービスを提供することで、成長事業を創出する
- 長期的な展望のもとでカタクラグループの新たな柱となる事業を創出する

数値計画



(金額単位：百万円)

	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2016中計
	実績	実績	実績	実績	実績	見通し	
売上高	47,790	47,226	47,878	44,428	48,573	47,800	61,000
繊維事業	11,226	10,160	10,398	9,524	9,652	9,700	12,000
医薬品事業	17,790	16,399	16,544	14,709	14,903	15,800	22,000
機械関連事業	7,852	10,064	10,216	9,764	12,607	9,500	9,200
不動産事業	6,818	6,759	7,000	7,363	8,982	10,200	10,000
その他	4,102	3,842	3,718	3,062	2,375	2,450	4,600
新規事業	—	—	—	4	52	150	3,200

(金額単位：百万円)

	2011		2012		2013		2014		2015		2016		2016中計	
	実績	利益率	実績	利益率	実績	利益率	実績	利益率	実績	利益率	見通し	利益率		利益率
営業利益	2,181	4.6%	1,837	3.9%	1,537	3.2%	404	0.9%	▲ 190	-	1,400	2.9%	4,200	6.9%
繊維事業	270	2.4%	267	2.6%	152	1.5%	▲ 2	-	▲ 197	-	▲ 100	-	500	4.2%
医薬品事業	1,405	7.9%	548	3.3%	359	2.2%	▲ 475	-	▲ 524	-	200	1.3%	2,400	10.9%
機械関連事業	▲ 232	-	283	2.8%	381	3.7%	86	0.9%	150	1.2%	100	1.1%	250	2.7%
不動産事業	2,028	29.7%	2,154	31.9%	2,105	30.1%	2,286	31.0%	2,219	24.7%	3,000	29.4%	2,500	25.0%
その他	▲ 37	-	91	2.4%	33	0.9%	▲ 5	-	▲ 97	-	0	0.0%	150	3.3%
新規事業	0	-	—	-	—	-	▲ 30	-	▲ 291	-	▲ 500	-	150	4.7%
調整額	▲ 1,254	-	▲ 1,507	-	▲ 1,494	-	▲ 1,455	-	▲ 1,450	-	▲ 1,300	-	▲ 1,750	-

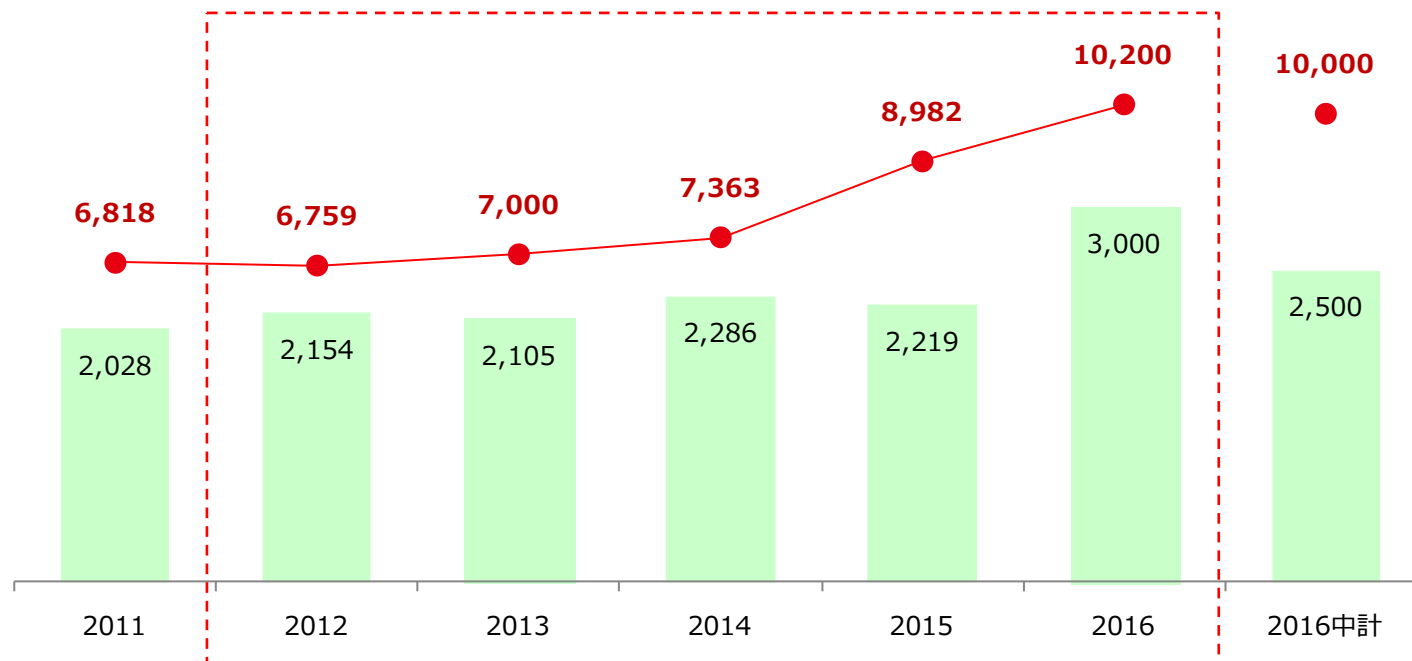
セグメント別進捗 | 不動産事業



進捗状況

■売上高と営業利益の推移（単位：百万円）

売上高 ● 営業利益 ■



2016中計との乖離と要因

<売上高 + 2 億円、営業利益 + 5 億円>

- 順調に大型社有地開発プロジェクトを展開
- メガソーラーや介護施設など多様な開発を推進
- 小規模社有地についても着実に開発を進展

次期中計の検討項目

- さいたま新都心社有地におけるまちづくり事業
 - ・第三期開発の推進
 - ・多様な機能集積による周辺エリアの魅力向上へ対応
- 松本社有地の再開発
 - ・イオンモール開業後の自社開発エリアの開発推進
- 一括賃貸先の再開発（いわき市等）

セグメント別進捗 | 不動産事業



多様な開発を推進

所在地	形態／用途	賃貸先(施設名称等)	建物概要	敷地面積	賃貸面積	開業他
埼玉県さいたま市	土地賃貸／ネットワークセンター	ソフトバンクモバイル(株)	—	約7,790㎡	約7,790㎡	2013年1月 賃貸開始
東京都中央区	共同所有／複合ビル	オフィス・商業テナント (東京スクエアガーデン)	地上24階 地下4階	約8,130㎡	約62,200㎡ (オフィスのみ)	2013年4月 開業
鹿児島県曽於市	土地賃貸／メガソーラー	SFソーラーパワー(株)	—	約50,800㎡	約50,800㎡	2013年10月 賃貸開始
東京都三鷹市	自社開発／賃貸住宅	(コクーンテラス井の頭)	地上2階	約1,700㎡	約1,300㎡	2015年4月 賃貸開始
埼玉県さいたま市	自社開発／商業施設	(コクーンシティ)	※詳細は参考資料③参照			2015年4月24日 コクーン2 開業 2015年7月17日 コクーン3 開業
埼玉県さいたま市	建物賃貸／介護施設	(株)ニチイ学館	地上3階	約3,750㎡	約4,500㎡	2015年6月 賃貸開始
長野県松本市	土地賃貸／商業施設 (一部自社開発予定)	イオンモール(株) ([仮称]イオンモール東松本)	地上3階 (一部2階)	約85,670㎡	約62,530㎡	2015年11月 賃貸開始 2017年秋 開業予定
東京都三鷹市	建物賃貸／介護施設	(株)ベネッセスタイルケア	地上3階	約2,670㎡	約2,500㎡	2017年 6月 賃貸開始予定



- 稼働率
 - ・オフィス : 約99%
 - ・商業テナント : 100%
- 主な賃貸先
 - ・(株)アリザスト
 - ・サントリー食品インターナショナル(株)
 - ・東芝三菱電機システム(株)ほか
- 当社シェア 11.18%

東京都中央区
東京スクエアガーデン



東京都三鷹市 (株)ベネッセスタイルケア様へ賃貸

セグメント別進捗 | 不動産事業



〔さいたま新都心駅前社有地開発〕 第三期開発の推進

社有地全体 147,000㎡(約44,500坪) ※私有地・公道を除く ※(P₁)~(P₄):コクーンシティ駐車場



第一期開発
約33,000㎡
(約10,000坪)

第二期開発
約68,000㎡
(約20,000坪)

第三期開発
約18,000㎡
(約5,500坪)

a. コクーン1 b. コクーン2 c. コクーン3 d. パークサイドビル e. レクサスさいたま新都心 f. フォルクスワーゲンさいたま新都心
g. ガーデンヒルズ迎賓館 h. さいたま新都心コクーンシティ住宅展示場 i. オフィスビル j. ニチイホーム アイリスガーデン k. デイリーヤマザキ

COCOWN CITY
Saitama-Shintoshin

セグメント別進捗 | 不動産事業



〔さいたま新都心駅前社有地開発〕 多様な機能集積により、周辺エリアの魅力が高まる



さいたま新都心ビル（仮称）



さいたま新都心ビル（仮称）
〔2017年初夏予定〕

【当社】
コクーンシティ
〔2015年4月24日開業〕



コクーン2

造幣局さいたま支局・博物館
〔2016年10月3日〕

埼玉県大宮警察署
〔2017年〕

さいたま赤十字病院
〔2017年1月4日 外来開始〕

埼玉県立小児医療センター
〔2017年1月5日 外来開始〕



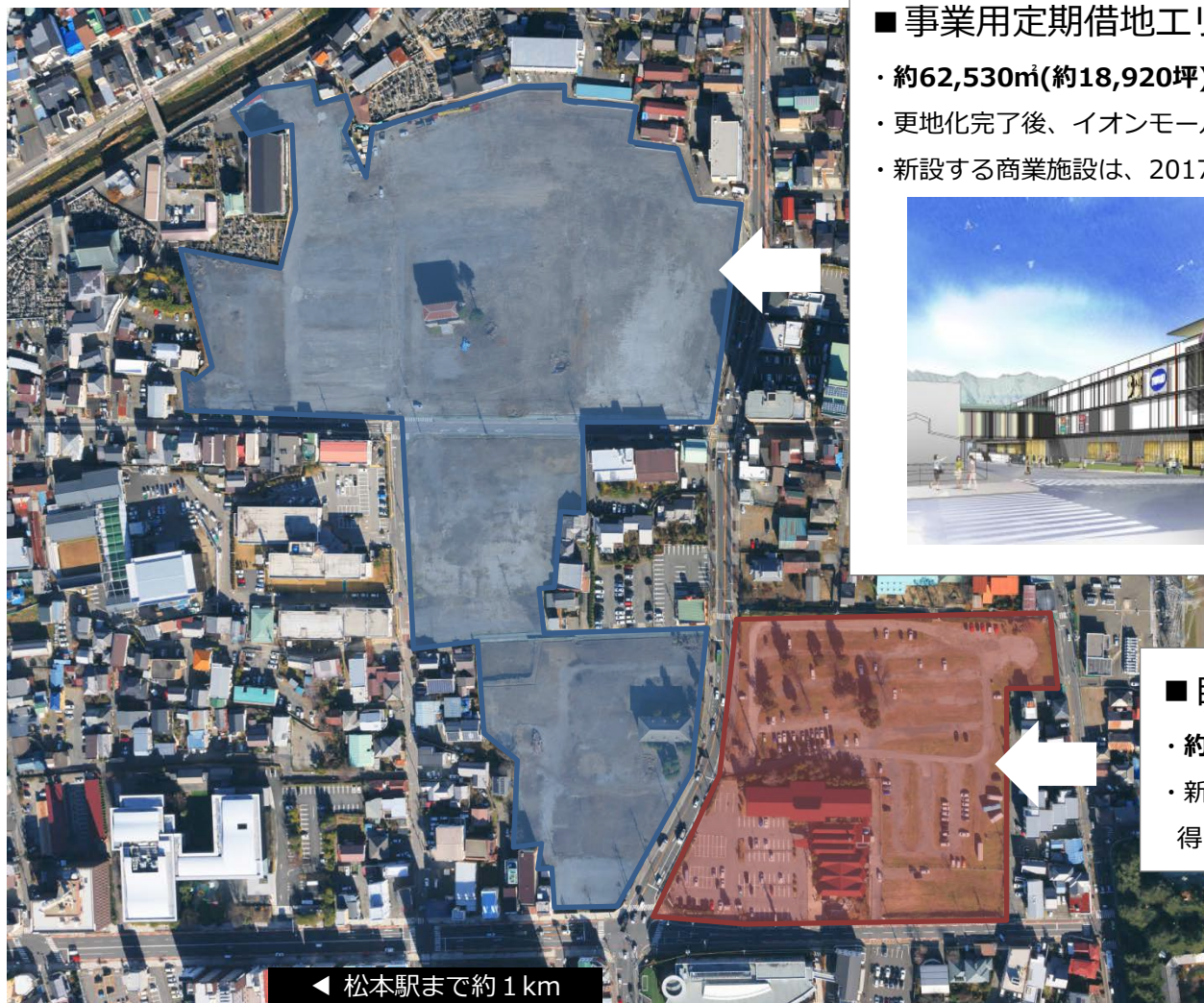
（右）さいたま赤十字病院
（左）埼玉県立小児医療センター

セグメント別進捗 | 不動産事業



〔松本社有地開発〕 2017年秋の開業に向け本格的な建築工事に着手

不動産開発エリア 約85,670㎡(約25,920坪) ※公道等を除く



◀ 松本駅まで約1km

■ 事業用定期借地エリア

- ・約62,530㎡(約18,920坪)
- ・更地化完了後、イオンモール(株)へ土地賃貸中 (2015年11月～)
- ・新設する商業施設は、2017年秋開業予定 (下図イメージ)



■ 自社開発エリア

- ・約23,140㎡(約7,000坪)
- ・新設する商業施設と相乗効果を発揮し得る計画を検討中

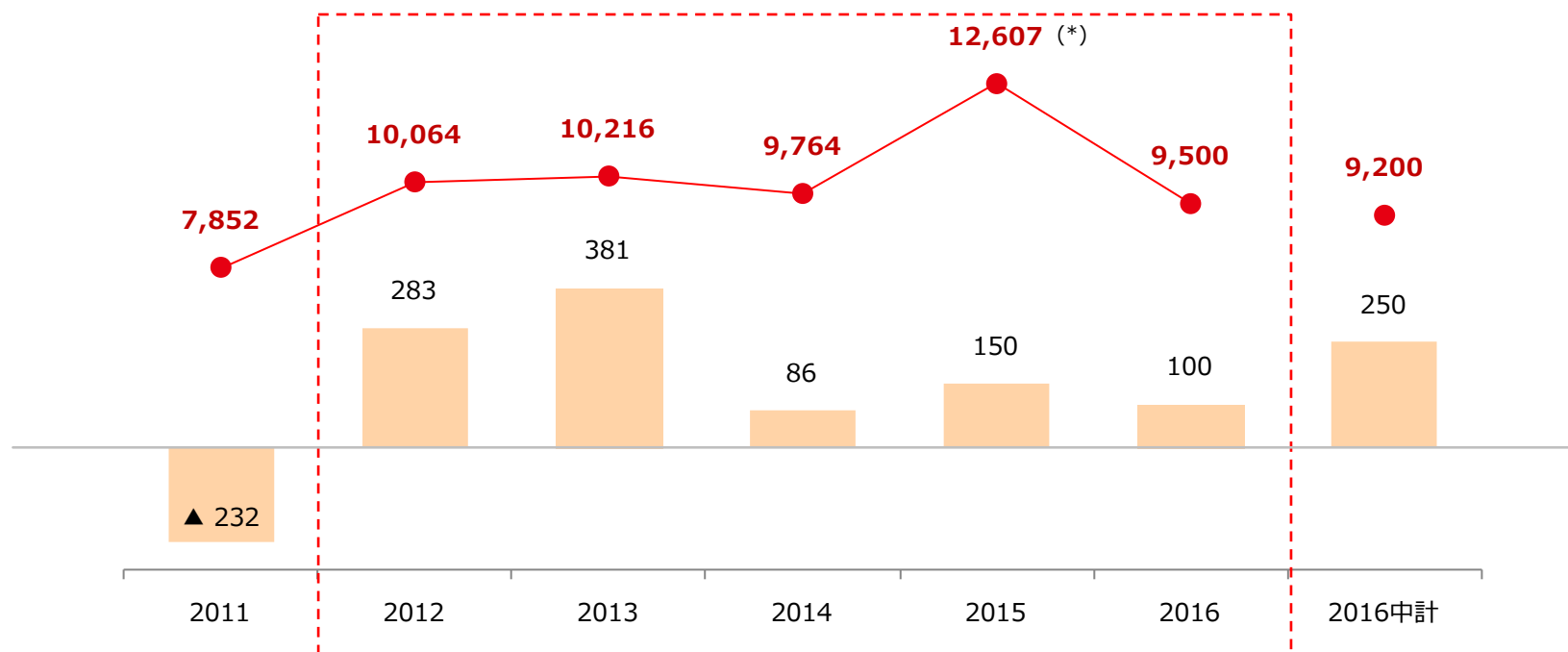
セグメント別進捗 | 機械関連事業



進捗状況

■売上高と営業利益の推移（単位：百万円）

売上高 ● 営業利益



2016中計との乖離と要因

<売上高 + 3 億円、営業利益 ▲ 1.5 億円>

- 消防自動車は2011年以降の電力会社向け大容量送水ポンプ車の受注もあり増収
- 消防自動車の外注費が計画比大幅増

次期中計の検討項目

- 水中ポンプシステム^{ボーキャン}Vowcanの国内外での販売推進
- はしご車の販売再開



(*)2014年受注分の一部が納期ズレにより2015年に売上計上

新規事業の創出

進捗状況

■売上高と営業利益の推移（単位：百万円）

売上高 ● 営業利益 ■

2012～2013年

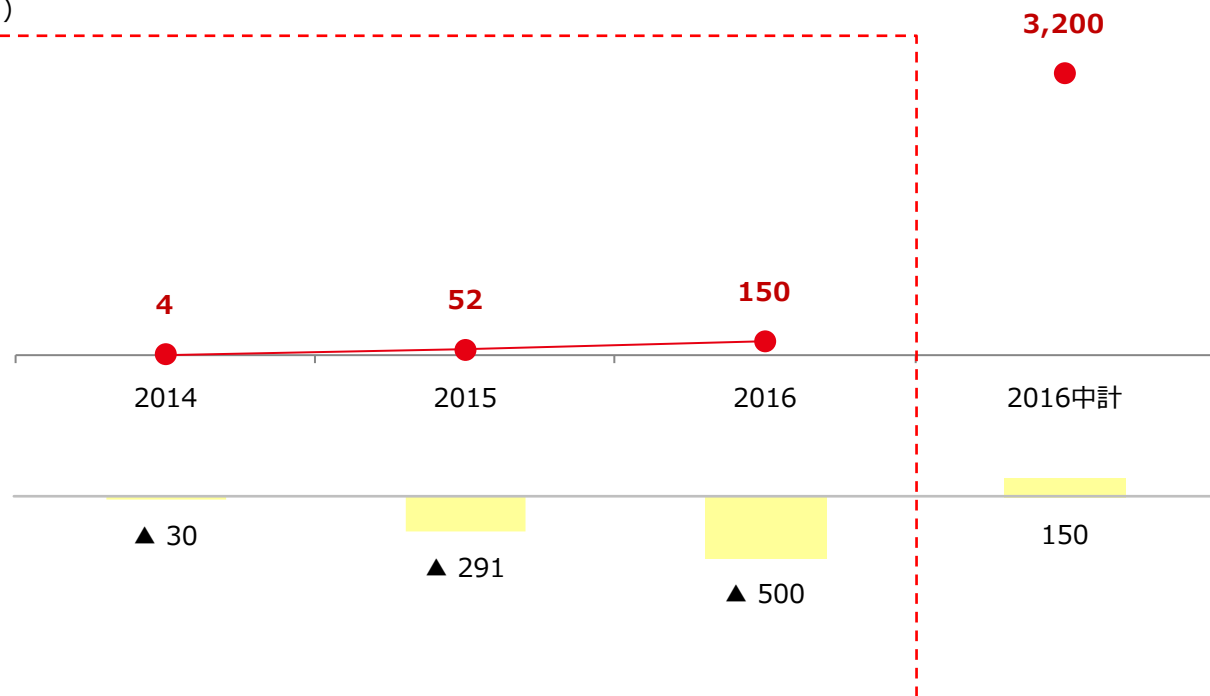
4つのターゲット分野
から事業化を検討

介護・福祉分野

コミュニティサービス分野

環境関連分野

健康分野



2016中計との乖離と要因

<売上高▲30.5億円、営業利益▲6.5億円>

- 多角化した事業のシナジーを活かし「アグリ」「ヘルス」ビジネス領域において、**新規で5事業をスタート**
- 計画より事業化が遅れ中計数値とは乖離

次期中計の検討項目

- 新規5事業の早期収益化
- 新規事業の継続的な創出

新規事業の創出

担当部署	案件	内容・特徴	事業化	現況	事業開始
ヘルス ビジネス	デイサービス (西大井)	・ 社有未利用地の有効活用 ・ 自社運営の通所介護施設	○	・ 利用者の定着化推進	2014年 9月
ヘルス ビジネス	化粧品企画販売事業	・ シルク成分及び自社ハチミツ配合 ・ スキンケア化粧品「絹蜜」ブランド	○	・ 販促活動推進 ・ アイテム拡充(7月) クレンジングオイル、導入化粧水	2014年10月
ヘルス ビジネス	デイサービス (武蔵境)	・ 社有未利用地の有効活用 ・ 自社運営の通所介護施設	○	・ 利用者の定着化推進 ・ リハビリ型サービス追加(8月)	2015年 3月
アグリ ビジネス	はなびらたけ 生産販売事業	・ 高品質、低コストの工場きこ栽培 ・ 温度、湿度、CO2濃度の自動調整	○	・ 群馬県内に工場開設 ・ 量産開始	2015年 6月
アグリ ビジネス	低カリウムレタス FC方式生産事業	・ 生産規模 4,500株/日 ・ クリーンルームで生産	○	・ 埼玉県内に工場開設 ・ 量産開始	2015年 7月
ヘルス ビジネス	オストメイト対応型 便座企画販売事業	・ 排泄処理作業の負担軽減 ・ 在宅、施設、病院等の介護支援	○	・ 販路開拓中 ・ SC、病院、公共施設へ導入	2015年11月

アグリビジネス



低カリウムレタス



はなびらたけ

ヘルスビジネス



絹蜜（左から、洗顔石鹸・クレンジングオイル
・導入化粧水・オールインワンジェル）



前広便座（いい安座）



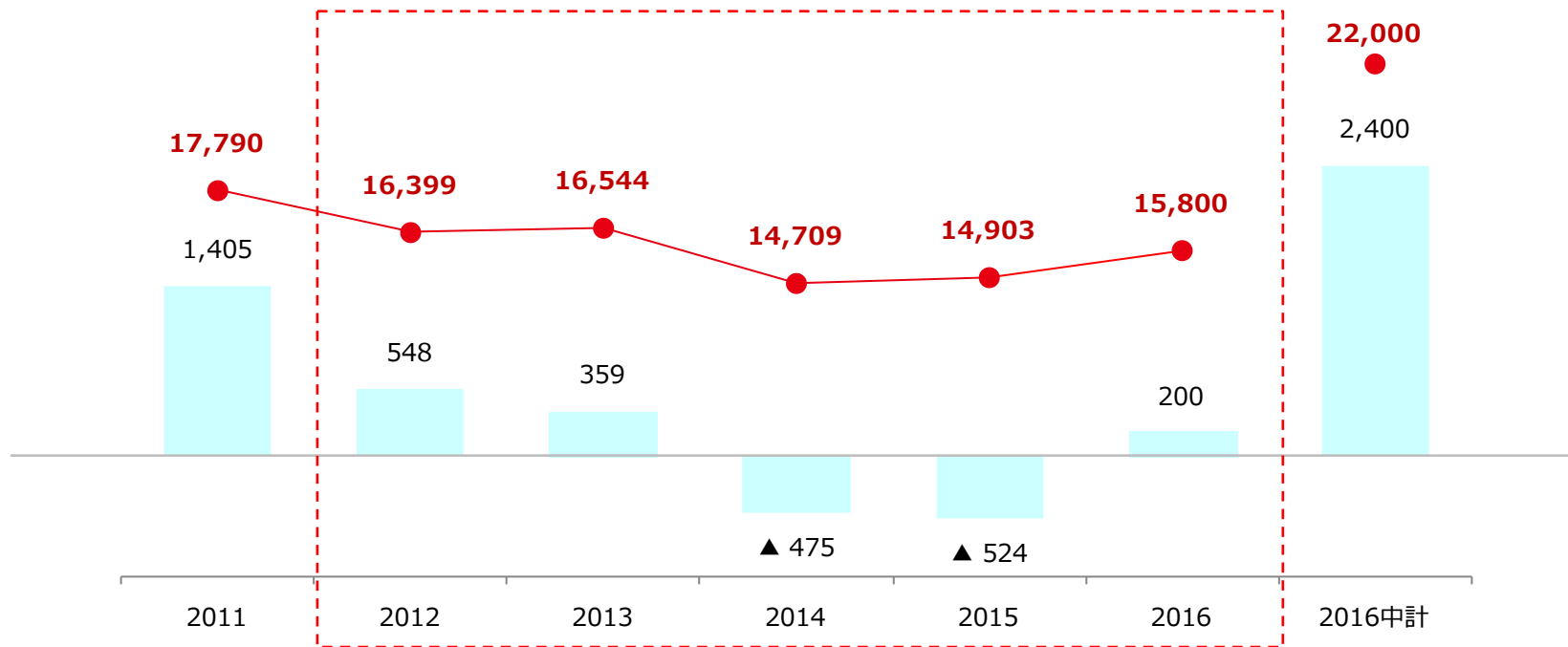
デイサービス（武蔵境）

セグメント別進捗 | 医薬品事業



進捗状況

■売上高と営業利益の推移（単位：百万円）



2016中計との乖離と要因

<売上高▲62億円、営業利益▲22億円>

- 後発品使用促進政策強化による影響
 - ・長期収載品の売上数量の大幅な減少
 - ・薬価の特例的引下げ
- ビソノテープの市場浸透遅れ

次期中計の検討項目

- ライセンス導入による製品ラインナップの拡充
- 付加価値後発品の継続上市
- ビソノテープの適応追加（慢性心房細動）

セグメント別進捗 | 医薬品事業

分類	内容	特徴	進捗状況
新薬	TY-0201 ビスノテープ 4mg・ビスノテープ 8mg	・日本初の経皮吸収型降圧剤	・2013年9月発売
付加価値後発品	ピモベンダン錠0.625mg「TE」	・経口心不全治療薬 ・既存品の半量製剤	・2014年1月発売
付加価値後発品	ジゴキシシン錠0.0625「KYO」	・心不全・不整脈治療向け強心配糖体製剤 ・既存品の半量製剤	・2015年1月発売
付加価値後発品	メトホルミン塩酸塩錠 250mgMT「TE」 メトホルミン塩酸塩錠 500mgMT「TE」	・経口糖尿病用剤	・2015年6月発売
付加価値後発品	ニトログリセリン静注 25mg/50mL シリンジ「TE」	・ニトログリセリンをシリンジに充填した 静注用のシリンジ製剤	・2016年6月発売
ライセンス導入	シンビット静注用50mg	・不整脈治療剤	・2014年4月製造販売承認承継
ライセンス導入	シベノール錠50mg・シベノール錠100mg シベノール静注70mg	・不整脈治療剤	・2016年4月製造販売承認承継



高血圧治療剤（ビスノテープ）



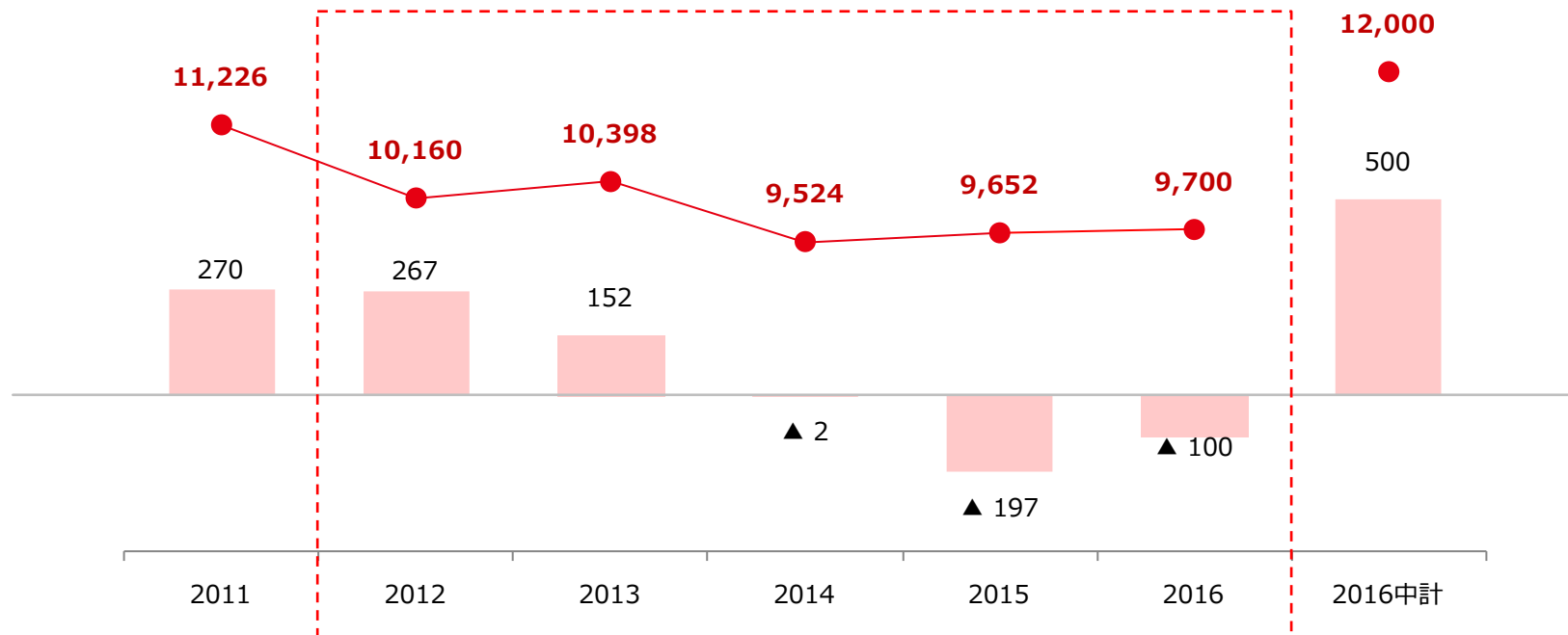
不整脈治療剤（シベノールほか）

セグメント別進捗 | 繊維事業



進捗状況

■売上高と営業利益の推移（単位：百万円）



2016中計との乖離と要因

＜売上高▲23億円、営業利益▲6億円＞

- GMS業態へのPB販売不振
- 円安の進行による原価率の上昇
- 機能性繊維は堅調に推移

次期中計の検討項目

- シルク・介護を中心としたNB商品ブランドの浸透
- 耐熱性繊維の機能性向上による販売推進

設備投資額・減価償却費・研究開発費



(金額単位：百万円)

	2012	2013	2014	2015	2016	5年間合計
	実績	実績	実績	実績	見通し	
設備投資額	2,818	5,236	7,046	12,800	3,440	31,340
医薬品事業	666	1,230	1,676	950	1,600	6,122
不動産事業	1,914	3,612	4,796	10,660	1,090	22,072
その他のセグメント	238	394	574	1,190	750	3,146

2012-16中計	
5年間	差異
29,500	1,840
6,000	122
20,000	2,072
3,500	▲ 354

【不動産】
 ・東京スクエアガーデン
 ・コクーン2・3
 ・建築費の高騰も収支計画を上回る見込み
 ・その他の社有地開発にも着手

減価償却費	2,708	2,830	2,955	3,842	4,010	16,345
医薬品事業	1,481	1,399	1,478	1,458	1,400	7,216
不動産事業	863	1,069	1,140	1,884	2,080	7,036
その他のセグメント	364	362	337	500	530	2,093

15,500	845
6,000	1,216
7,500	▲ 464
2,000	93

研究開発費	3,069	2,905	3,120	3,138	2,780	15,012
医薬品事業	2,502	2,323	2,538	2,684	2,400	12,447
新規事業	390	407	374	196	60	1,427
その他のセグメント	177	175	208	258	320	1,138

17,500	▲ 2,488
14,500	▲ 2,053
1,600	▲ 173
1,400	▲ 262

【医薬品】
 ・TY-0201：ビソノテープ
 ・TY-51924：開発中止に伴い費用減
 【新規事業】
 ・新規事業創出に伴う調査・研究費

4. 株主還元について

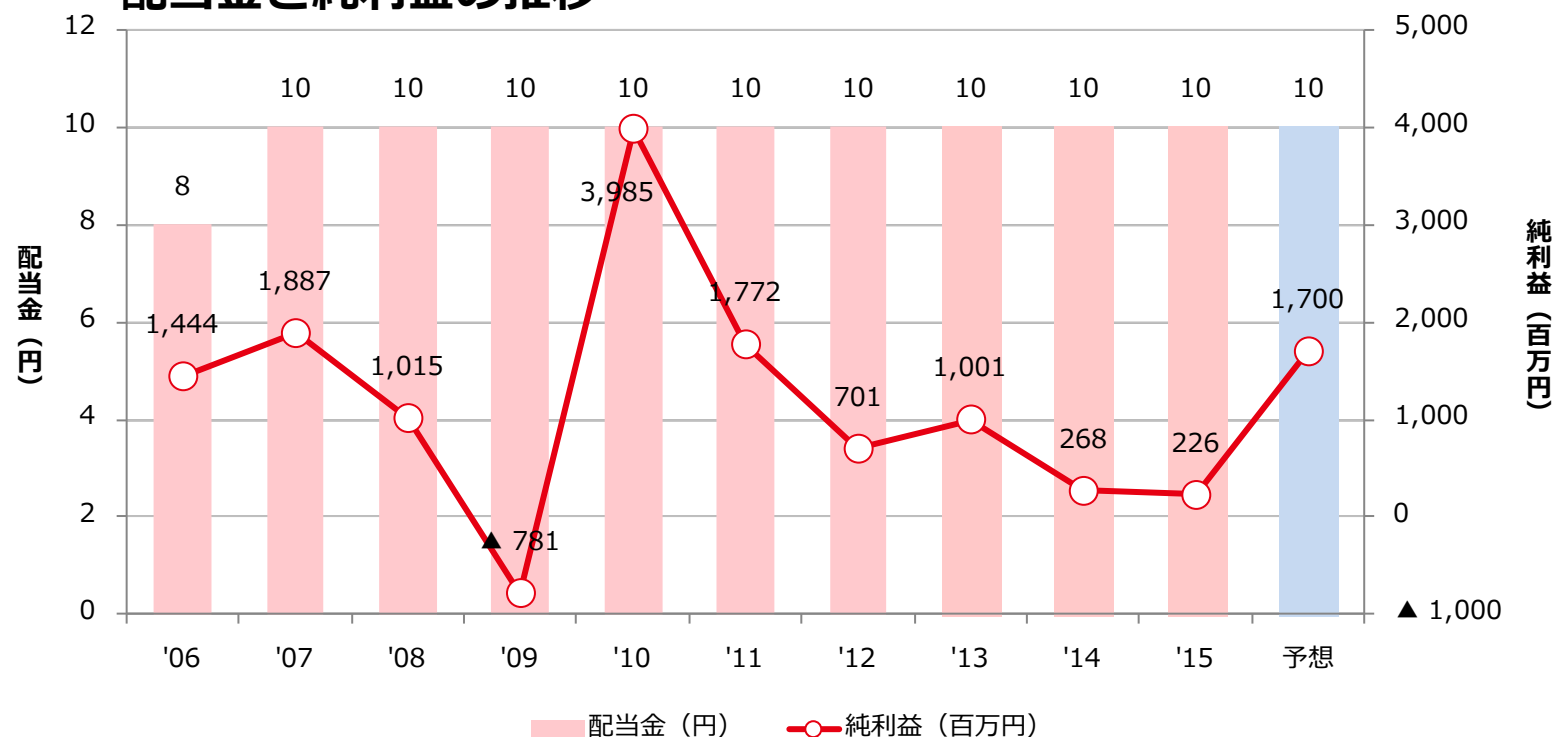
利益配分の方針

業績や今後の事業展開、内部留保の水準等を総合的に勘案し、株主へ継続的に安定した配当を実施することを基本としております。

1株あたり配当金	2015年12月期実績
普通配当	10円00銭

1株あたり配当金	2016年12月期予想
普通配当	10円00銭

配当金と純利益の推移



《参考資料①》 多角化の起源



創業 1873年（明治6年）

設立 1920年（大正9年）

カイト

垣外製糸場



生糸



富岡製糸場の保有
1939～2005年
（66年間）



生糸製造

生糸製造の伝統を受け継ぐ



蚕糸関連研究

優良蚕品種研究を活かす



繰糸機製造

自社開発の製造ノウハウを活かす



製糸工場

跡地を有効利用する

繊維事業

衣料品事業部

肌着、靴下の製造・販売

オグランジャパン(株)

カジュアルインナーの製造・販売

カフラス(株)

補整下着の製造・販売

(株)ニチビ

水溶性繊維、耐熱性繊維の
製造・販売

医薬品事業

トーアエイヨー(株)

医療用医薬品の製造・販売

その他

生物科学研究所

訪花昆虫の販売等

機械関連事業

機械電子事業部

自動車部品の製造・販売
石油製品等の輸入販売

日本機械工業(株)

消防自動車の製造・販売

片倉機器工業(株)

農業用機械の製造・販売

不動産事業

商業施設事業部

ショッピングセンターの運営
不動産賃貸

不動産開発部

社有地の開発・活用

その他

小売事業部

小売業の運営

(株)片倉キャロサービス

ビル管理サービス

《参考資料②》 カタクラグループの事業構成



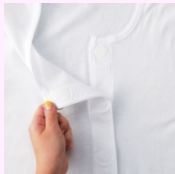
繊維事業

シルクインナー



衣料品事業部

介護肌着



ライセンス製品



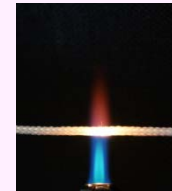
オグランジャパン(株)

補整下着



カフラス(株)

アルミナ長繊維
(耐熱性繊維)



(株)ニチビ

消防自動車



医薬品事業



トーアエイヨー(株)

機械関連事業

三岐弁



機械電子事業部

振動ハブリング
洗浄器



二輪管理機



片倉機器工業(株)

はしご車



日本機械工業(株)

不動産事業

東京スクエアガーデン



商業施設事業部

コクーンシティ



不動産開発部

その他

ニューライフ
カタクラ



小売事業部

マルベリー
ガーデン



交配専用みつばち商品



生物科学研究所

ビルの清掃等



(株)片倉キャロンサービス

《参考資料③-1》 中計期間中の取り組み



〔さいたま新都心駅前社有地開発〕 直営のS Cに加え多様な機能を備えた「コクーンシティ」



2004年 9 月開業

cocoon 1

営業面積	約23,000㎡
階数	地上 2 階
テナント売上想定	約150億円
テナント数	約100店
設備投資額	約80億円



2015年 4 月24日開業

cocoon 2

営業面積	約35,000㎡
階数	地上 3 階
テナント売上想定	約200億円
テナント数	164店（開業時）
設備投資額	約155億円



2015年 7 月17日開業

cocoon 3

営業面積	約18,000㎡
階数	地上 3 階・地下 1 階
テナント売上想定	非公表
テナント	・ヨドバシカメラ ・マルベリーガーデン(直営) 他

■ その他の主要な賃貸施設

さいたま新都心
コクーンシティ住宅展示場

LEXUS

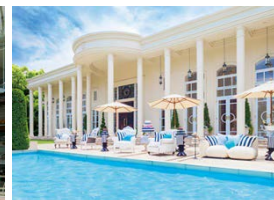


Volkswagen. Das Auto.

みんながうれしい。
私たちの心。
One Heart
Wedding
ガーデンヒルズ迎賓館



介護付有料老人ホーム
ニチイホーム
サービス付高齢者住宅
アイリスガーデン



《参考資料③-2》 中計期間中の取り組み



大容量水中ポンプシステム「Vowcan（ボーキャン）」の取り組み



■ 開発の経緯と展開

- ・ 機械関連事業の工業用バルブや消防自動車等の製造で培った技術を活かし、大規模災害を想定した製品の研究に取り組み
- ・ 海や河川など無限水利からの取水や送水、また洪水による浸水時の排水ができる運搬式の油圧式水中ポンプシステムを開発
- ・ 国内外の展示会に出展
 - ①「防災産業展in仙台」（宮城県 仙台市）2015/3
 - ②「Defense&Security2015」（タイ バンコク）2015/11
 - ③「IFCAA2016大阪国際消防防災展」（大阪府）2016/6
- ・ 国内、海外への積極的なプロモーションを展開

■ 使用例

- ・ 水没箇所からの大量排水
- ・ 渇水時における生活用水の確保
- ・ 山間部など近くに水源が無い場所において、海や河川からの遠距離送水
- ・ ゲリラ豪雨や長雨などにより発生した洪水の排水
- ・ 河川の工事において、水の移動が必要な場合の送水



放水テストの様相

＜ご案内＞

本資料中の業績見通し等についての記述は、現時点における将来の経済環境予想等の仮定に基づいています。
その実現・達成を保証または約束するものではありません。また今後、予告なしに変更されることがあります。

本資料に含まれる情報の掲載にあたりましては細心の注意を払っておりますが、掲載された情報の誤りに関しまして、
当社は一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。

＜お問い合わせ先＞

片倉工業株式会社

住所：〒104-8312 東京都中央区明石町6番4号

企画部広報・IR室 室長 三上雅生 / 菊地信行

Tel：03-6832-0223

Fax：03-6832-0282

世界遺産登録「富岡製糸場」



特集WEBページ「片倉工業と富岡製糸場が歩んだ歴史」

<http://www.katakura.co.jp/tomioka.htm>